



広報・調査研究部の活動と会員アンケート調査を実施して～『気づき』と『学び』を考える～  
部長 生田 克実（相談支援事業所あるふぁ）

皆様もご存じかと思いますが、石川県精神保健福祉士会（以下県士会に省略）には、総務部、教育研修部、広報・調査研究部の3つの部会があります。私はその中の広報・調査研究部の活動に平成27年から参加しています。

広報・調査研究部では、県士会の会員の皆様に向けて、様々な情報提供などを通じて、会員一人ひとりが精神保健福祉士の専門性について確認し、自らの実践を振り返りながら“学び”機会の提供を行っています。また県士会の活動を紹介し県士会自体が身近に感じられる等を通じて、会員の県士会活動への参画の促進を行っています。会員以外の方に対しては、精神保健福祉士の認知度向上につとめる活動を行っています。

私自身、精神保健福祉士として活動を始めて今年で18年になりますが、最近ますますソーシャルワークの学びについて奥深さを実感しています。他の会員の方々からは「当たり前」と思われるでしょうが、精神保健福祉士にとって「学びに終わりが無い」事をひしひしと感じています。

経験年数を考えると成長の遅さに恥ずかしい思いでいっぱいですが、最近、私自身仕事において、“気づき”と“学び”を主体的に得る様、意識して行動する事を心がけています。その一方で「わかった」「もう学んだ」と、どうしても考える自分もまだまだありますが・・・。

以前より「もやもやする感覚を大切に」と諸先輩から繰り返し助言を受けていたことを、今もよく思い出します。何度も聞く中で、「大切にしなければ」と思い、仕事に取り組んでいました。しかし、その当時は立ち止まって考えることは行っていましたが、「何故もやもやする感覚を大切にすることで学びが深まるか」深く考えていませんでした。何故大切なのか少し掘り下げて考えてみると、「もやもや」している時は「なんとなくわからない事がある」と感じている瞬間ではないでしょうか。その後、「わからない事」がある程度「わかった」時にもやもやが解消する、すなわち“気づき”を得た時だと思えます。また、気付いた事を考え自らの言葉で表現（言語化）出来た時に“学び”につながる、と感じています。“わからない”事柄に“気づき”、気付いた事柄を自ら掘り下げて考え、自分の言葉で表現することで“学び”へと至るプロセス。ある意味当たり前のことですが、意識して取り組むことで以前に比べて前向きにソーシャルワークに取り組んでいる、と思っています。

令和3年度、広報・調査研究部では会員アンケート調査を実施しました。たくさんの会員の方々にご回答いただき、ありがとうございました。今回皆様にご協力いただいた会員アンケート調査から、会員の方々の現在の状況や学びたいと感じている事等、まだ“わかっていない”事柄を整理・分析することで、会員の皆様によりよい“学び”の機会の提供を行っていきたいと考えています。今後とも県士会の活動にご協力とご参加のほど、よろしくお願いいたします。

## 調査の目的

石川県精神保健福祉士会（以下、県士会）に入会している皆さんは、精神保健福祉士として実践していくうえで、さまざまな悩みや不安を抱えている方もいるのではないのでしょうか。また、昨今の新型コロナウイルス感染症の蔓延・感染予防にも取り組みながらの日常業務や、研修や会議がオンライン形式に移行するなど、この数年で私たちの日常業務も大きく変化した方も多くいるのではないのでしょうか。

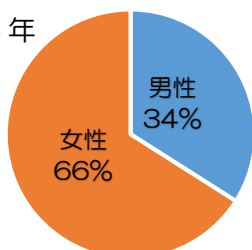
そこで県士会として、新型コロナウイルス感染症の影響について、実践においてどのようなことで悩んでいるのかを調査し、県士会活動に必要な取り組みについて検討するため、第4回会員アンケート調査を実施しました。

調査方法は令和3年12月に県士会会員全員に対して、案内文を送付し、スマートフォンやパソコンで回答ができる「Googleフォーム」を利用しました。回収率は約42%でした。

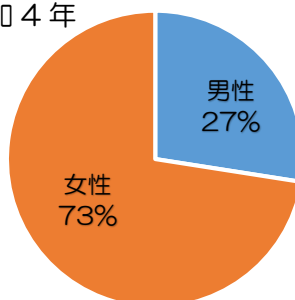
## 基本情報について

### 男女比

平成26年



令和4年

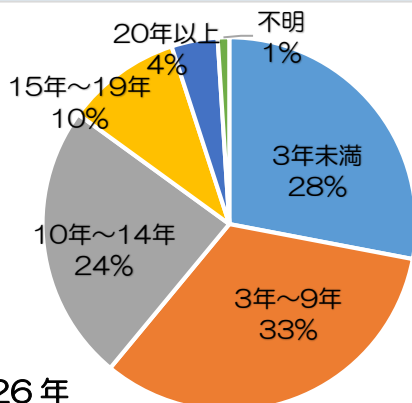


回答者の男女比は平成26年度と同様に男性が約3割、女性が7割でした。

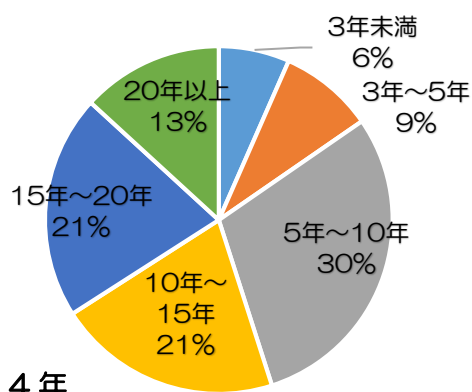
若干男性の割合が下がってきています。

### 経験年数

平成26年

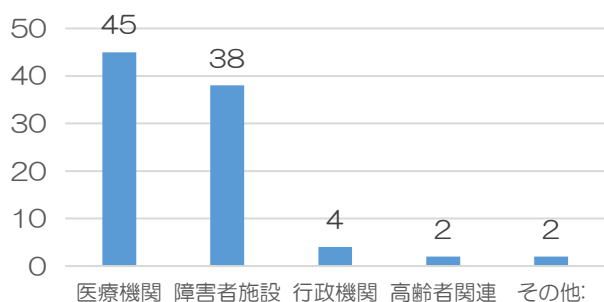


令和4年



10年未満が平成26年は61%に対し、令和4年は45%となっています。  
今回の調査では10年以上勤務が半数を超えていることがわかりました。

## 所属機関

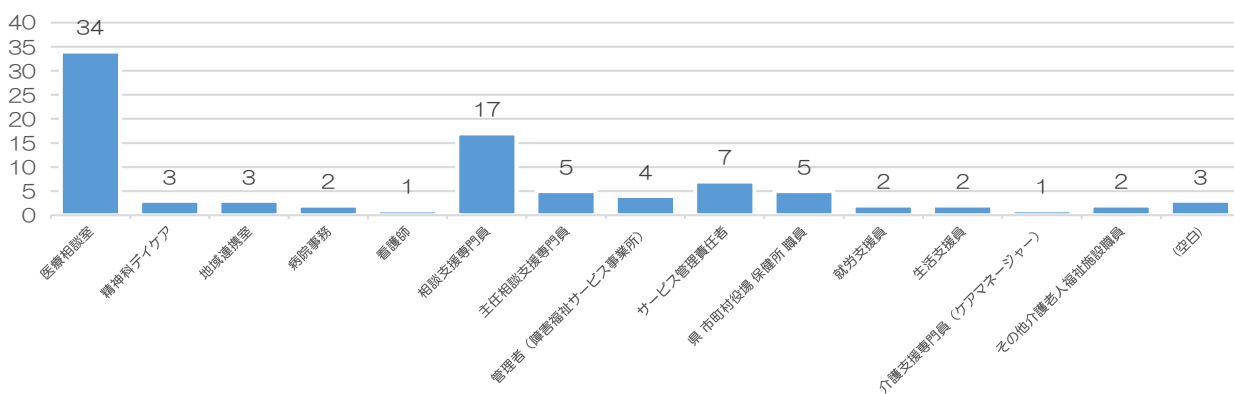


所属機関別では医療機関所属が半数を占めており、次いで障害者施設関連でした。

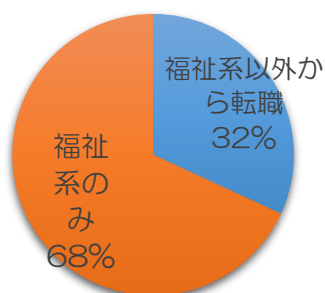
主たる職種については医療機関では病院相談室所属が多く、デイケアなどの関連部署にも所属していました。

障害者施設では相談支援専門員やサービス管理責任者が多いようです。

## 主たる職種

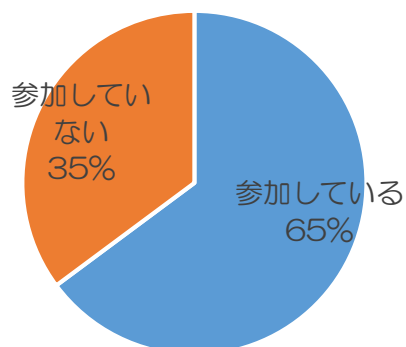


## 仕事の経歴



前職が福祉関係以外の経験がある会員が3割を超えていました。

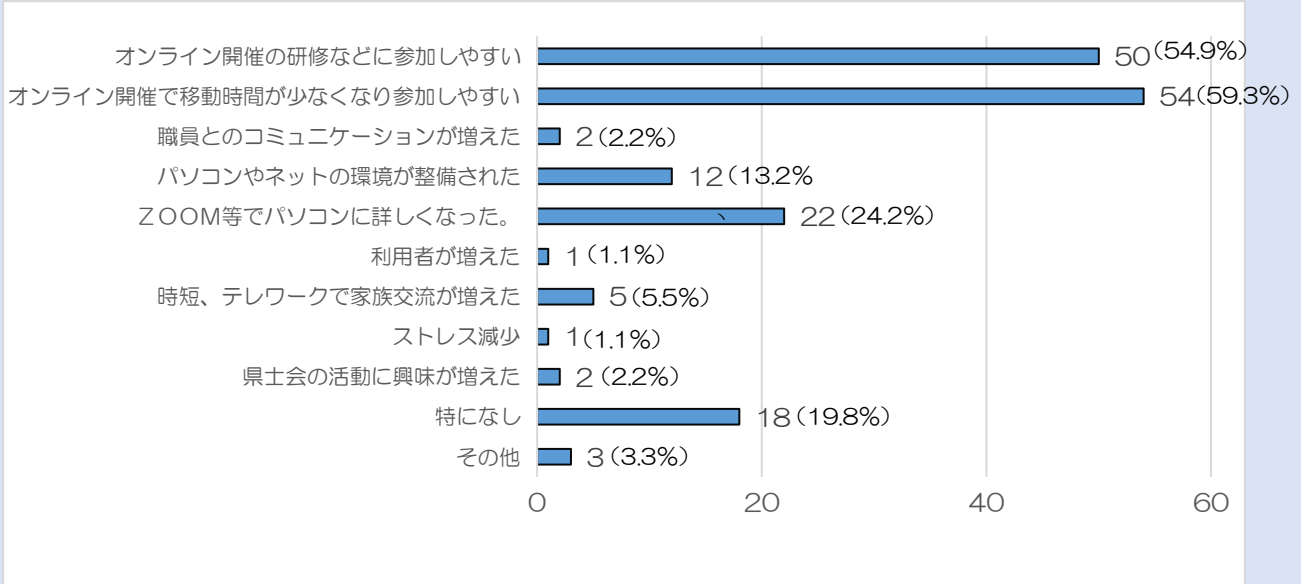
## 過去3年間の研修参加



約 2/3 の会員が過去 3 年間に以内に研修に参加しているようです。

## 新型コロナウイルス感染症対策等について

職場での新型コロナウイルス感染対策で**良い**変化や影響はありましたか回答91件（複数回答可）

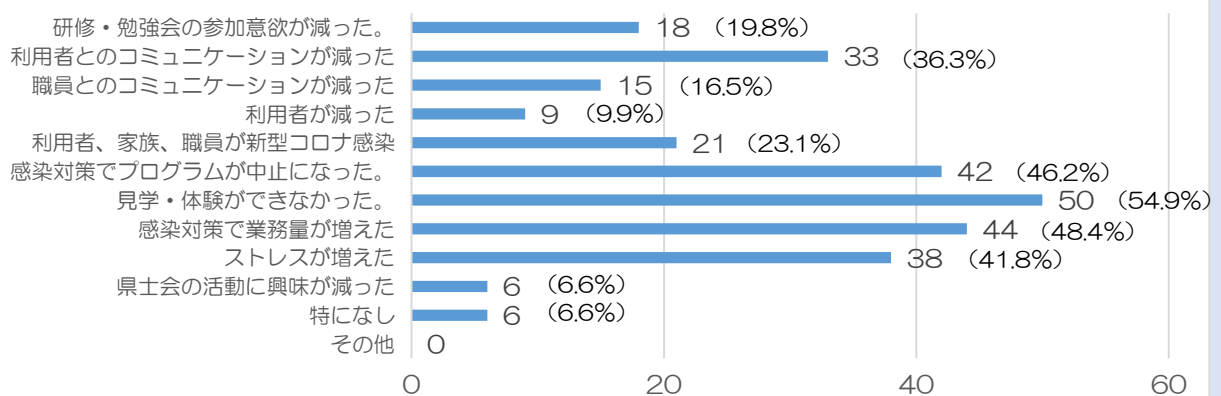


### その他の意見

- ・初診の方の予診を事前に電話で聞くようになり、時間の余裕もでき、予定もくみやすくなった。
- ・歓送迎会や忘新年会が無くなり、経済的負担が減った。

感染対策での良い変化として ZOOM 等のオンライン化による研修や会議に参加しやすい環境やパソコン、タブレットなどの設備が増えたことが良い変化としてあげられています。

職場での新型コロナウイルス感染対策で**悪い**変化や影響はありましたか回答91件（複数回答可）

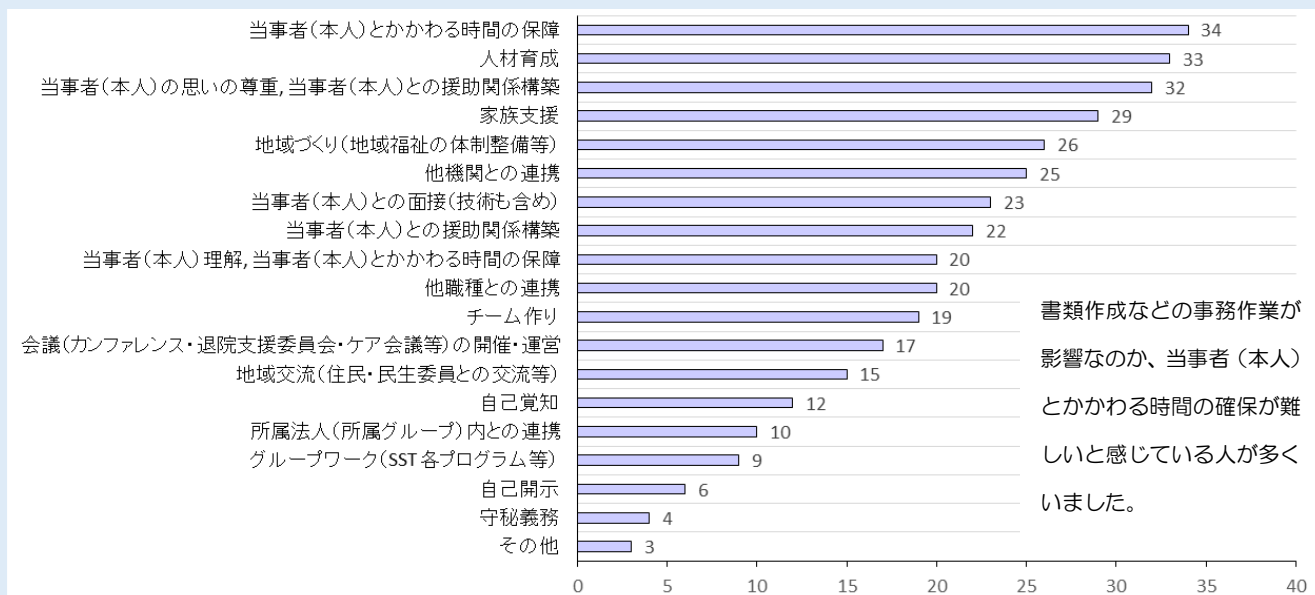


感染対策での悪い変化としては利用者減少やかかわり、コミュニケーション減少し、見学、体験等の外出ができないことや感染対策の消毒作業などの業務量が増えたことがあげられました。

## 精神保健福祉士の実践について

精神保健福祉士の実践や業務について、悩んでいることや困っていることを教えてください。

(5つまで回答可)

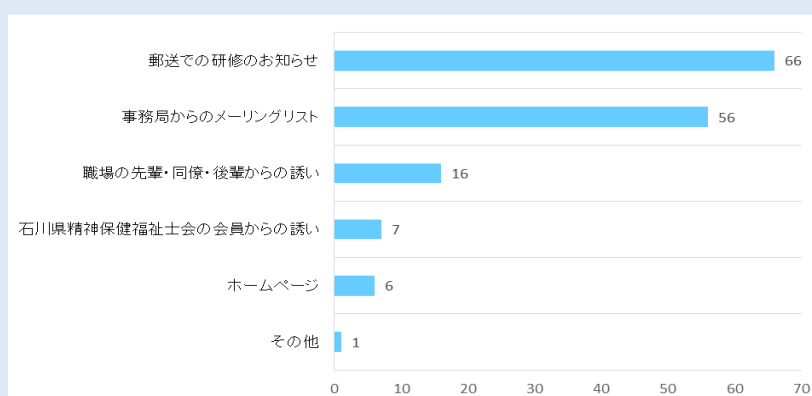


### その他の意見・精神保健福祉士の実践や業務について悩んでいることや困っている事について

- ・医療機関と患者という利益相反の関係の中での退院支援に、いつもジレンマを感じながら業務しています。
- ・日頃、さまざまな切り口で課題に出会えば「悩む」「困る」というより、状況を受け入れ出来ることからひとつ先へ進めるといった感覚を重ねています。
- ・職場や上司が何よりもコロナ対策優先になっていることについての気持ちの負担が大きいです。
- ・虐待対応での分離のジレンマ

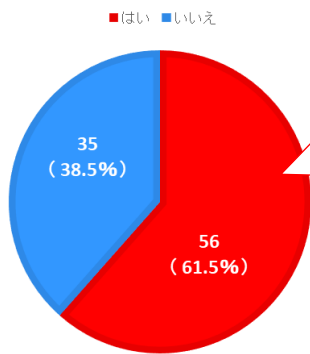
## 研修について

石川県精神保健福祉士会が開催する研修の情報をどのようにキャッチしていますか(複数回答可)



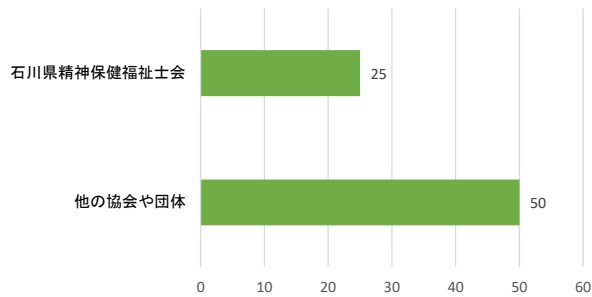
郵送での案内文、メールでの案内をみて、研修情報を得る方が多かったです。

過去1年のうち、職場からの指示以外で研修に参加したことがありますか



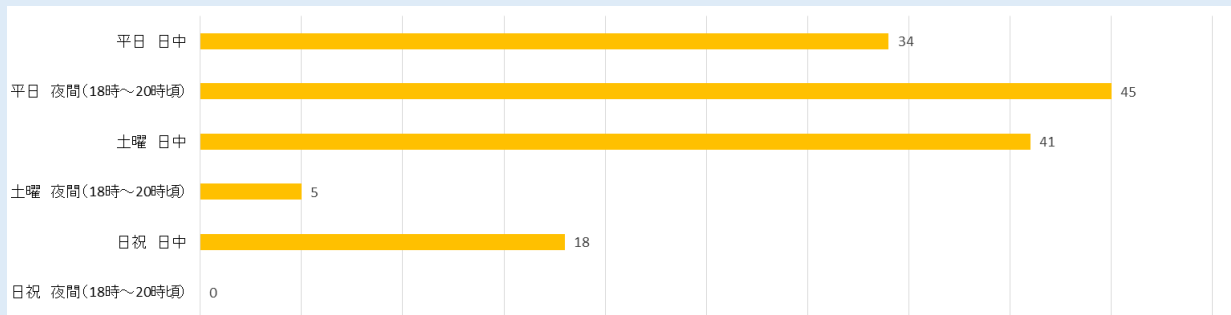
はいと答えた方にお聞きします。

どの団体からの研修に参加しましたか（両方回答可）



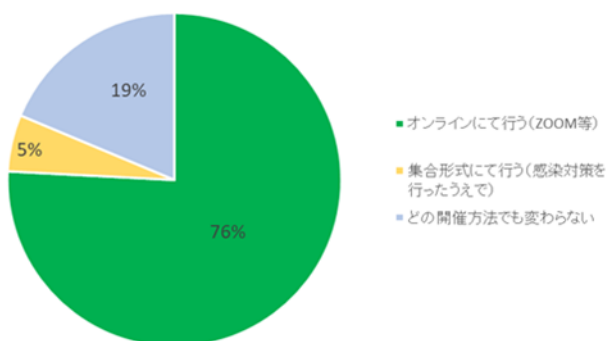
研修に参加しやすい曜日や時間についてお聞きします。どの曜日や時間帯が参加しやすいですか？

（複数回答可）

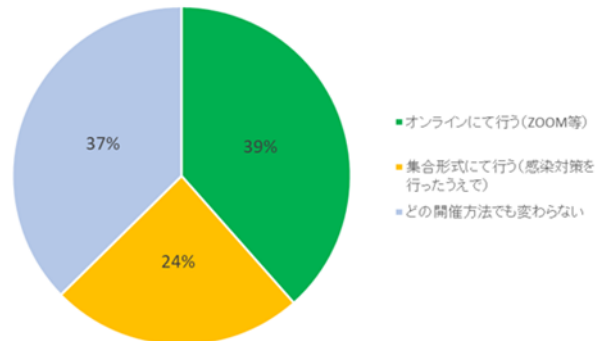


平日の夜間、土曜日の日中での研修を希望される方が多かったです。日曜日と祝日の夜間の研修を希望される声はありませんでした。

現在の状況（コロナ禍）にてお聞きします。  
どの開催方法だと研修に参加しやすいですか

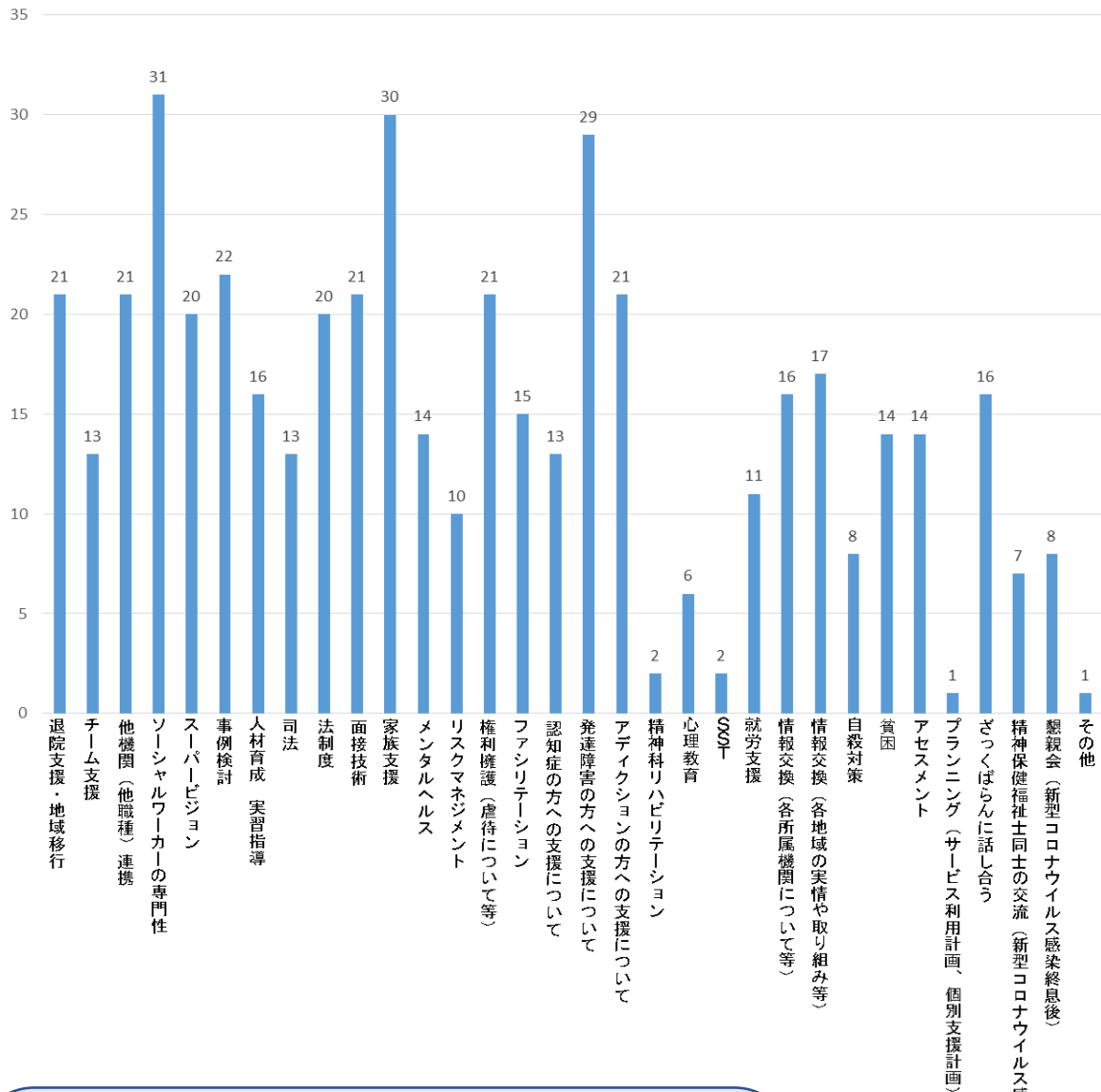


（新型コロナウイルス感染が終息したと仮定すると）  
どの開催方法だと研修に参加しやすいですか



参加したい研修内容について確認します。どのような研修テーマだと参加したいですか？

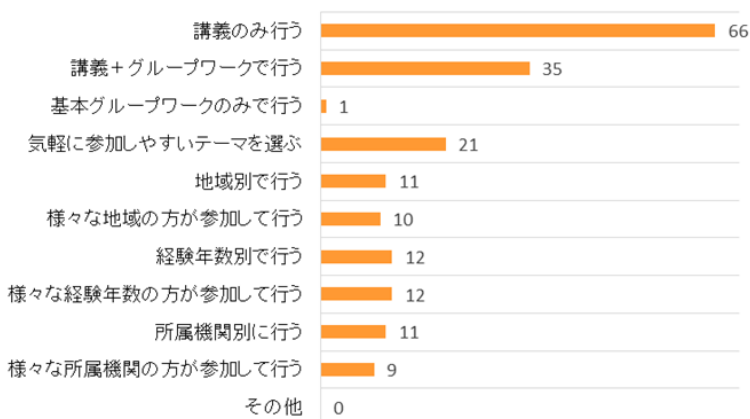
(複数回答可)



ソーシャルワークの質の向上を目指している方が多く、家族支援や発達障害についての研修の希望が多かったです。

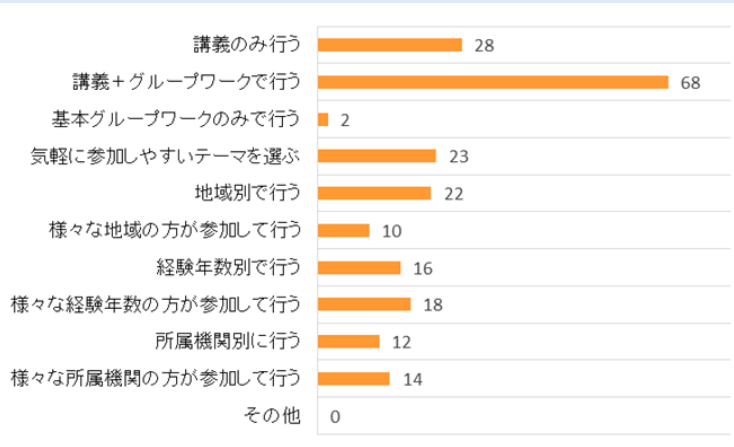
なお、自由回答では、ひきこもり、スクールソーシャルワーカー、支援者自身のメンタルヘルスについての研修を希望する声がありました。

オンラインだとどのような形式だと研修に参加しやすいですか？（複数回答可）



オンライン研修では、講義のみを希望される方が一番多かったです。オンラインではグループワークがやりづらいという結果でしょうか・・・？

集合形式の場合、どのような形式の研修に参加しやすいですか？（複数回答可）



集合形式の研修では、講義とグループワークを希望される方が多く、オンラインでの研修よりもグループワークを希望される方が多いという結果でした。



【アンケート調査へのご協力御礼】

昨年度に実施しましたアンケート調査では、質問項目が多数あったにもかかわらず、会員の皆様には丁寧にご意見・ご要望・日頃の思いを伝えていただきありがとうございました。会員の皆様が、実践の中で感じている思いや迷い、不安など、たくさんのご意見をいただきました。

このアンケート調査が、今後の県土会活動に参考となるように努めたいと思います。末筆ではありますが、日常業務の傍らでご回答くださいました会員の皆様にこの場をかりて改めて感謝いたします。

石川県精神保健福祉士会 広報・調査研究部一同





# 新入会紹介



## 矢田野ファクトリー 大間知 桐華（新入会）

令和3年度より石川県精神保健福祉士会に入会させていただきました大間知と申します。令和3年4月より現在の職場で勤務しています。利用者の方と日々かかわる中で不安に思うことや自分の至らなさを感じることもありますが、その方の気持ちに寄り添った支援を大切にしていきたいと思っています。そのためにもどのようなかかわりができるか考えながら、精神保健福祉士として成長できるよう努力していきます。どうぞよろしくをお願いします。



## 就労継続支援B型事業所なにかとワーク 古沢 真歩（新入会）

令和3年度より石川県精神保健福祉士会に入会させていただきました古沢と申します。以前は他県の病院で勤務していましたが、令和3年10月より現在の職場で勤務しています。利用者の方と関わる上で、利用者が望む生活の実現に向けて、その人を理解したい気持ちを持ち、思いに耳を傾け、ともに取り組むことを大切にしています。今後は積極的に県土会の研修や活動に参加させて頂き、ソーシャルワークの価値と知識、技術を学ぶとともに、自己研鑽に努め、ソーシャルワーカーとして成長していきたいと思っております。皆様にはご指導いただく機会が多いかと思っておりますが、よろしくお願い致します。



## 特別養護老人ホームサンライフたきの里 山田幹生（新入会）

令和3年度より石川県精神保健福祉士会に入会させていただきました山田と申します。令和元年4月より特別養護老人ホームサンライフたきの里で勤務しています。日々、利用者さんとかかわる中で、その方がどのような生活をしていきたいと思っているのか、そのために自分は何をすればいいのかを考え関わるよう努めています。相談支援に携わる者としての姿勢や知識を学んでいき成長していきたいと考えています。皆様にはお世話になりますがよろしくお願い致します。



## 石川県中央保健福祉センター 小野 真歩（新入会）

令和3年度より石川県精神保健福祉士会に入会させていただきました小野と申します。令和3年4月に、就職と同時に初めて石川県に来ました。社会人になって1年経ちましたが、職場に精神保健福祉士が私しかいないことや、慣れない土地に、まだまだ戸惑う毎日です。研修等に参加させていただきながら、精神保健福祉士として成長できるように努めていきたいと思っております。皆様にはお世話になることがあるかと思っておりますが、ご指導のほどよろしくをお願いします。

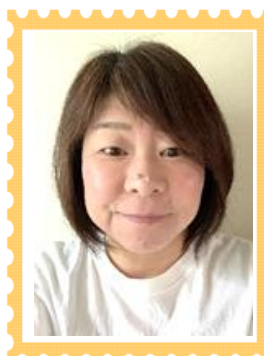
## 会員紹介



片山津温泉・丘の上病院 荻山 守（会員）

私は認知症治療病棟で勤務しています。

私が患者さんとかかわる上で大切にしていること——それは、認知症の患者さんであっても、その時に発した言葉や行動は間違いなく本人の思いであること。認知症だと、つい先ほどのことを忘れてたり、言葉としてうまく表現できない場合もありますが、患者さんの思いがどこにあるかを汲み取るように努めています。今後もその姿勢を大切にしながら、患者さんとかかわってまいります。



社会福祉法人なごみの郷相談支援センターはまかせ 堂前 美春（会員）

右も左も分からず、くろゆり作業所の指導員として働きはじめ、ソーシャルワークなんて、何も知らずに利用者の方とおでんをつついていた頃が懐かしく思われる今日この頃。十数年が経ち、何か成長しているのだろうか？と考えた時に、やはり自分を支援者として成長させてくれているのは、目の前にいる当事者・家族であり、支援に関わる関係機関の方だとなつくづく思います。みんなに助けられここまで来たなど…。これからも出会った人、これから出会う人の縁を大切にしていきたいです。



七尾松原病院 柿島 純平（会員）

これまで精神保健福祉士として当事者の立場に立ち、当事者目線で支援を行うことを意識してきました。

現在、精神科病院で退院支援に携わっていますが、支援過程において「患者様の意思決定」を特に大切にしています。患者様の希望を第一に、ご家族の希望、地域の支援者の意見を多職種チームで検討し、その方に寄り添った支援を展開できるように取り組んでいます。

これからも権利擁護の視点を忘れずに、当事者の方々との関わりを大切にしていきたいです。

石川県精神保健福祉士会ホームページ  
について

URL : <http://ishikawa-psw.main.jp/index.html>

石川県精神保健福祉士会事務局

〒922-0424 加賀市小菅波町 121 番地 1

医療法人社団長久会 加賀こころの病院

TEL : 0761-72-0880 FAX : 0761-72-0875

E-mail : [ishikawapswjimukyoku@gmail.com](mailto:ishikawapswjimukyoku@gmail.com)